

客観的根拠に基づく政策形成に向けて

科学技術イノベーション政策の立案・推進のために

笠木 伸英

東京大学 名誉教授

(独) 科学技術振興機構 研究開発戦略センター 上席フェロー

イノベーション戦略協議会の試み

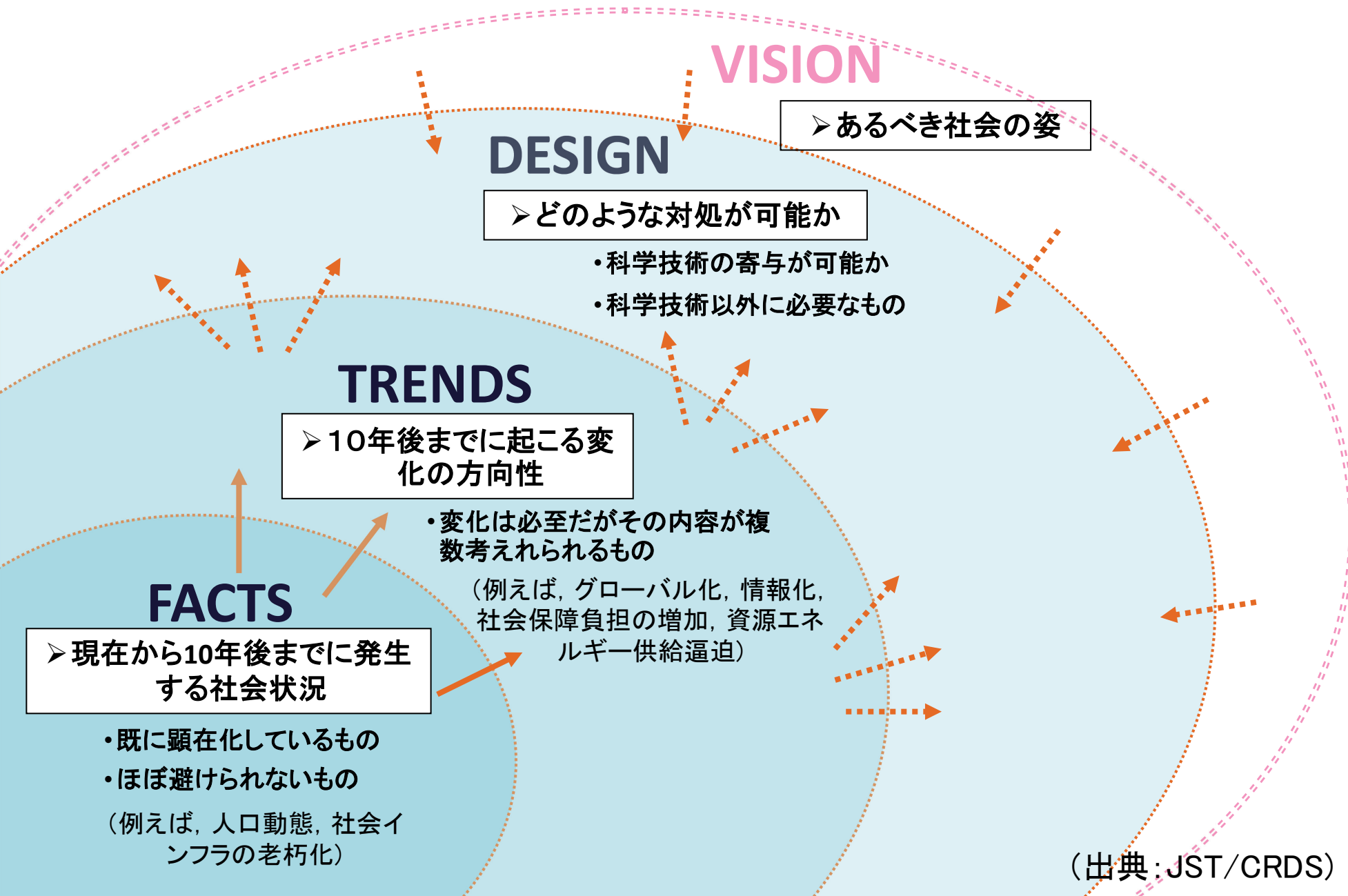
- 第4期科学技術基本計画でのシステム改革としてのイノベーション戦略協議会（以下，抜粋）
 - 国は，総合科学技術会議（若しくは，「科学技術イノベーション戦略本部（仮称）」）の調整の下で，「科学技術イノベーション戦略協議会」を創設
 - 重要課題の将来ビジョンを明確にし，その実現に向けた戦略策定に資するため，基礎から応用，開発，事業化，実用化まで，各フェーズにおいて推進すべき具体的な研究開発，規制・制度改革，達成目標，推進体制，資金配分の在り方等について幅広い観点から検討
- 客観的根拠（エビデンス）を収集，分析する機能の欠如
 - 戦略協議会の議論の正当性を担保するためには，客観的根拠を収集，分析する専門家集団としてのシンクタンクの支援が必要
 - シンクタンクは，調査・分析・研究を行う独立した公的組織

シンクタンクの役割

<基本認識>

- 課題解決型研究開発(第4期科学技術基本計画)に基づくイノベーションの意味
 - ✓ Science-driven Innovation → Science-using Innovation
 - 科学研究・技術開発とイノベーションの関係の複雑性
- 中立客観的な根拠に基づく政策オプション立案への支援:
 - 関連データ, 統計, レビュー (Cf. STAR METRICS)
 - 国が研究開発を支援すべき目標技術や優先研究開発領域の同定
 - 資源投入に対して効果的な研究開発システムの構築
 - 研究開発の適正な期間や予算規模の決定に資するデータ

社会的期待の発見と研究開発課題の設定



シンクタンク機能と政策オプション検討の場

■ 現存のシンクタンク関連組織

- 総合科学技術会議(イノベーション戦略協議会), 日本学術会議
- 行政府の各種審議会, 委員会
- NISTEP, CRDS/JST, RIETIなど公的シンクタンク, 民間シンクタンク
- OECD, NAS/NAE, RS/RAEなど

■ シンクタンクに求められる機能

- 科学技術と政策形成に優れた知識と豊富な経験を有する専門職集団
- 自然科学・人文社会科学を含む俯瞰力, 分析力, 構想力
- 卓説したイニシアティブ, リーダーシップ, 国際性

■ 政策オプションの検討の場

- 俯瞰的に科学技術全般を見渡し, 所属組織などの利害を越えて中立客観的な議論
- 民間, 大学・研究機関, 行政などから, 行動規範に基づいて同等に参加
Cf. Round Table of NAS